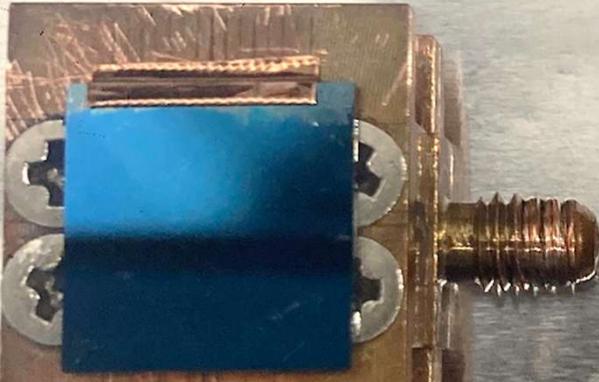


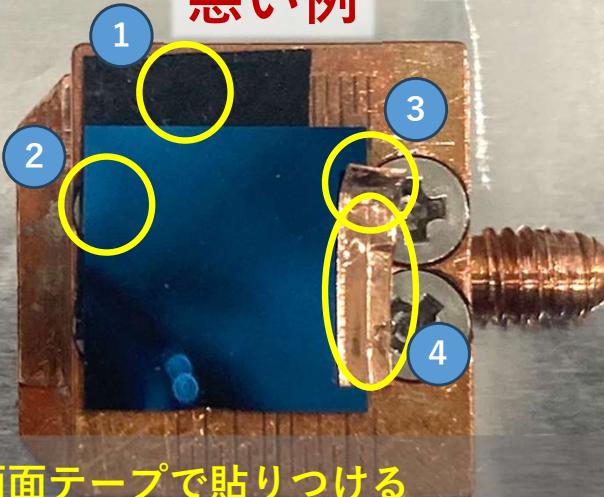
サンプルのマウント(BL08U SX-XAFS)

基板などの場合

良い例



悪い例



- ・プレートの中心にしっかりとカーボン両面テープで貼りつける
- ・導電性の低い試料の場合、試料表面とプレート導通をとるためCuテープを貼る
- ・複数の試料を貼りつける場合は縦に並べる
- ・粉末試料はカーボン両面テープに均一になるよう塗布
(試料によっては打錠、アルミパンプレスを検討)

粉末の場合

良い例



悪い例



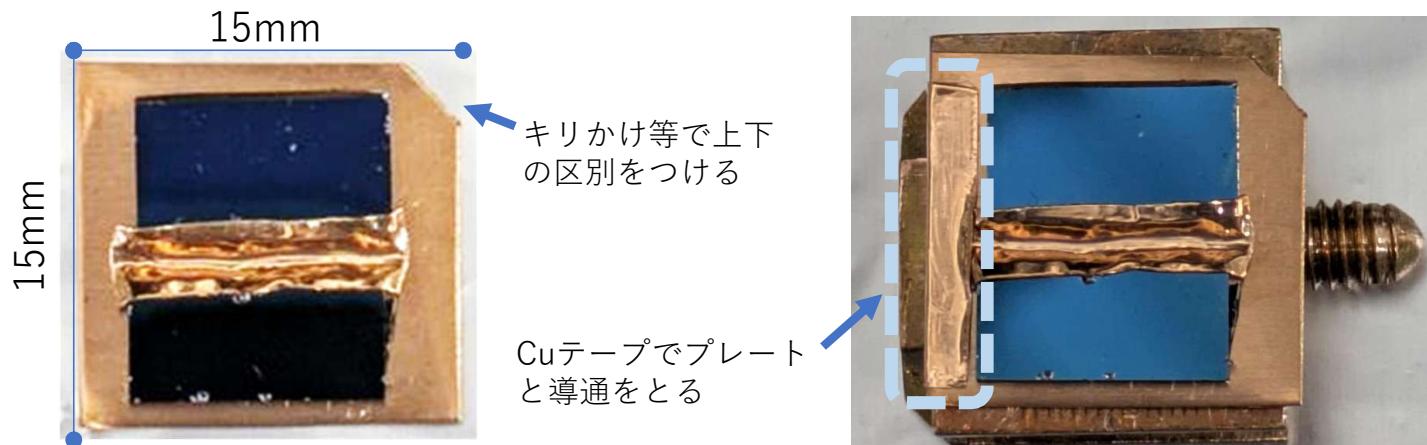
マウント時の注意点

- ① カーボンテープがはみ出している →測定時にC、O等が検出(測定の目的元素によっては不都合)
- ② ネジ穴を完全にふさいでいる →穴に空気が封じられ、真空引きに時間がかかる
- ③ Cuテープがしっかりと貼れていない(試料とプレートとの間に隙間がある) →接地、導通の不十分
- ④ 縦方向に導電性テープを貼る →斜入射条件のときに干渉の恐れあり
- ⑤ 粉末試料の塗布が不均一、過剰 →チャンバー汚染、試料同士のコンタミ、チャージアップの恐れあり

サンプル事前準備(BL08U SX-XAFS)

試料準備の時間を短縮する方法

- 試料ホルダーを各自で作製する
図面はユーザーの皆様に提供しております
コンシェルジュ、スタッフへお問い合わせください
 - 銅板にあらかじめ試料を貼り付けて持ち込む
厚さ約1mm × 縦横幅 約15×15mmの銅板に試料をあらかじめ貼り付け、当日持ち込む
- !注意！ 銅板はエタノール（もしくはアセトン）で超音波洗浄してください !注意！**
→真空装置に入れるため、油脂や汚れは除去してください



真空引き時間を短縮する方法

- あらかじめ真空引きしておく(ターボ分子ポンプで引ければ尚良)
→デシケーター等に入れて、外気に触れさせずに持ち込む